

統計研修講義計画書

| | | | | | |
|------|---|------|----------|------|-----|
| 研修課程 | 特別コース 実務に役立つ統計技術 | 講義科目 | 外れ値の処理方法 | 講義時間 | 1コマ |
| 講師 | 和田 かず美 (独) 統計センター 統計情報・技術部 統計技術研究課 総括研究員 | | | | |

※1コマ70分

講義のねらい

公的統計調査において、記入の誤りや、あるいは他の大部分とのデータと傾向が違うといった外れ値は不可避で、集計結果に影響を与える可能性がある。

この講義では、集計結果に影響を与うる外れ値の処理について概観する。

指導項目と内容

| 指導項目 | 内 容 |
|---------------------|---|
| 外れ値とは何か | 外れ値の定義について説明する。 |
| 統計調査の集計の流れと着目すべき外れ値 | 統計調査の集計は、まず回答データをチェックして、誤りなどを検出・修正し、必要に応じて欠測を補完し、統計表を作成する。この作業のステップ毎に、どのような外れ値に着目すべきかを解説する。 |
| 外れ値の検出方法 | いくつかの外れ値の検出方法について紹介する。 |

| | |
|-----------------|------------------------|
| 講義形態 指導方法 | 座学とRによる外れ値処理の例示 |
| 受講に必要な 基礎知識等 | 四分位や回帰分析等の基本的な数学や統計の知識 |